

淀川製鋼グループ
2024年3月期第2四半期決算説明資料

2023年11月29日

2 連結業績概要 (① 前期比)

(単位:億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	増減	増減率	特記事項
売上高	1,012.8	1,185.2	△172.3	△14.5%	<売上> 国内:鋼板商品の販売数量減少などから減収 海外:台湾SYSCO社の販売数量減少、販売価格の下落などから減収
(売上総利益)	158.1	188.6	△30.4		
(販管費)	103.4	106.2	△2.8		
営業利益	54.7	82.3	△27.6	△33.6%	<営業利益> 販売価格改善に努めるも販売数量の減少により減益 <営業外収益> 投資有価証券売却益などの計上
(営業外収益)	23.5	28.8	△5.3		
(営業外費用)	1.5	1.5	0.0		
経常利益	76.7	109.6	△32.8	△30.0%	<特別利益>固定資産売却益計上 <特別損失>固定資産除却損計上
(特別利益)	9.5	0.0	9.5		
(特別損失)	4.7	7.1	△2.4		
税引前利益	81.5	102.4	△20.9	△20.5%	
(法人税等)	23.9	29.1	△5.1		
(非支配株主利益)	5.6	14.7	△9.0		
親会社株主利益	51.8	58.5	△6.7	△11.5%	<包括利益> 当期:四半期純利益57億、その他有価証券評価差額金30億、為替換算調整勘定36億ほか
(EPS(円/株))	179.56円	203.08円	△23.5円		
包括利益	125.1	99.9	25.1		

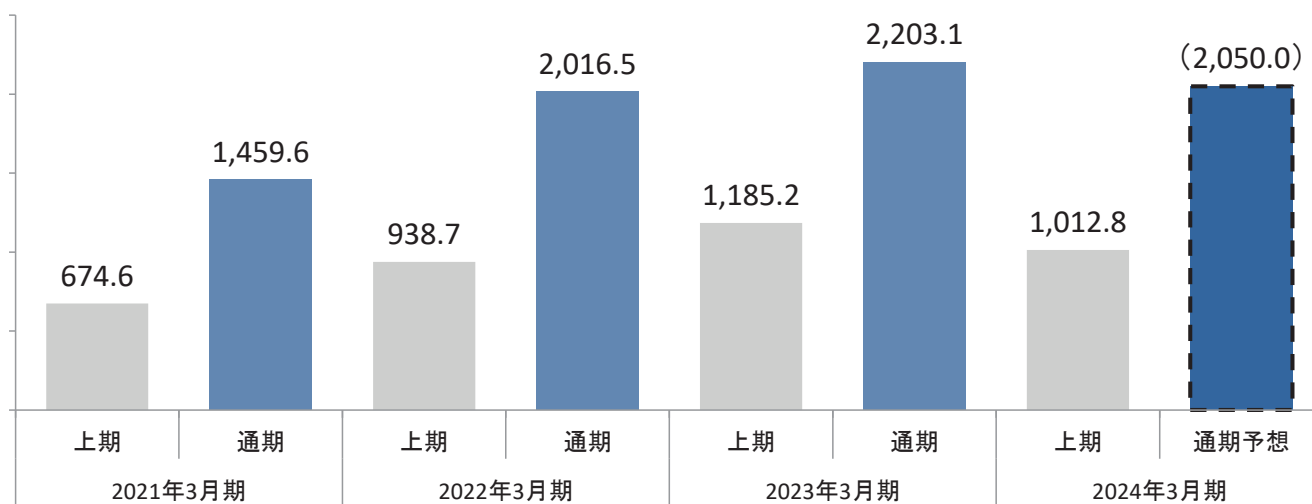
(単位: 億円(千万円未満切捨))

連結上期 (億円)	実績	予想 (2023年8月開示)	差異
売上高	1,012.8	1,020.0	△7.1
営業利益	54.7	45.0	9.7
経常利益	76.7	56.0	20.7
親会社株主利益	51.8	30.0	21.8

- 利益：エネルギーコスト他、各種コストを保守的に想定していた。投資有価証券を一部売却したことによる。

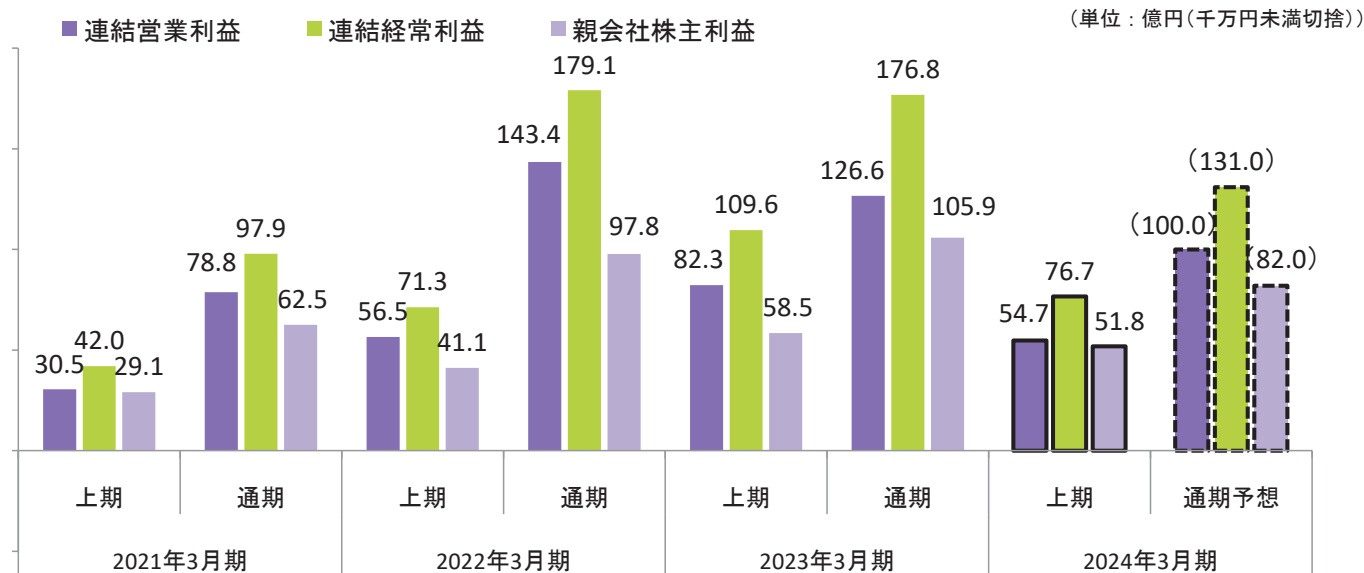
4 連結売上推移

(単位: 億円(千万円未満切捨))



【減収 172億の主な内訳】

- 淀鋼 △112億 (764→652)
建築需要の停滞などから、ひも付き・店売りいずれにおいても販売数量が減少し減収。エクステリアはガレージの販売が堅調に推移するも、物置の販売数量は伸びず
- 台湾SYSCO社 △86億 (331→244)
世界的なインフレや利上げの影響による製品需要の縮小などにより、特に輸出向けの販売数量が減少し、減収
- 中国YSS社 +11億 (50→61)
ゼロコロナ政策撤廃も不動産市場の低迷などから販売数量は微増に留まる
- タイPPT社 +2億 (25→27)
高付加価値商品の販売が堅調だったことに加え、スプレッドの維持に努め増収

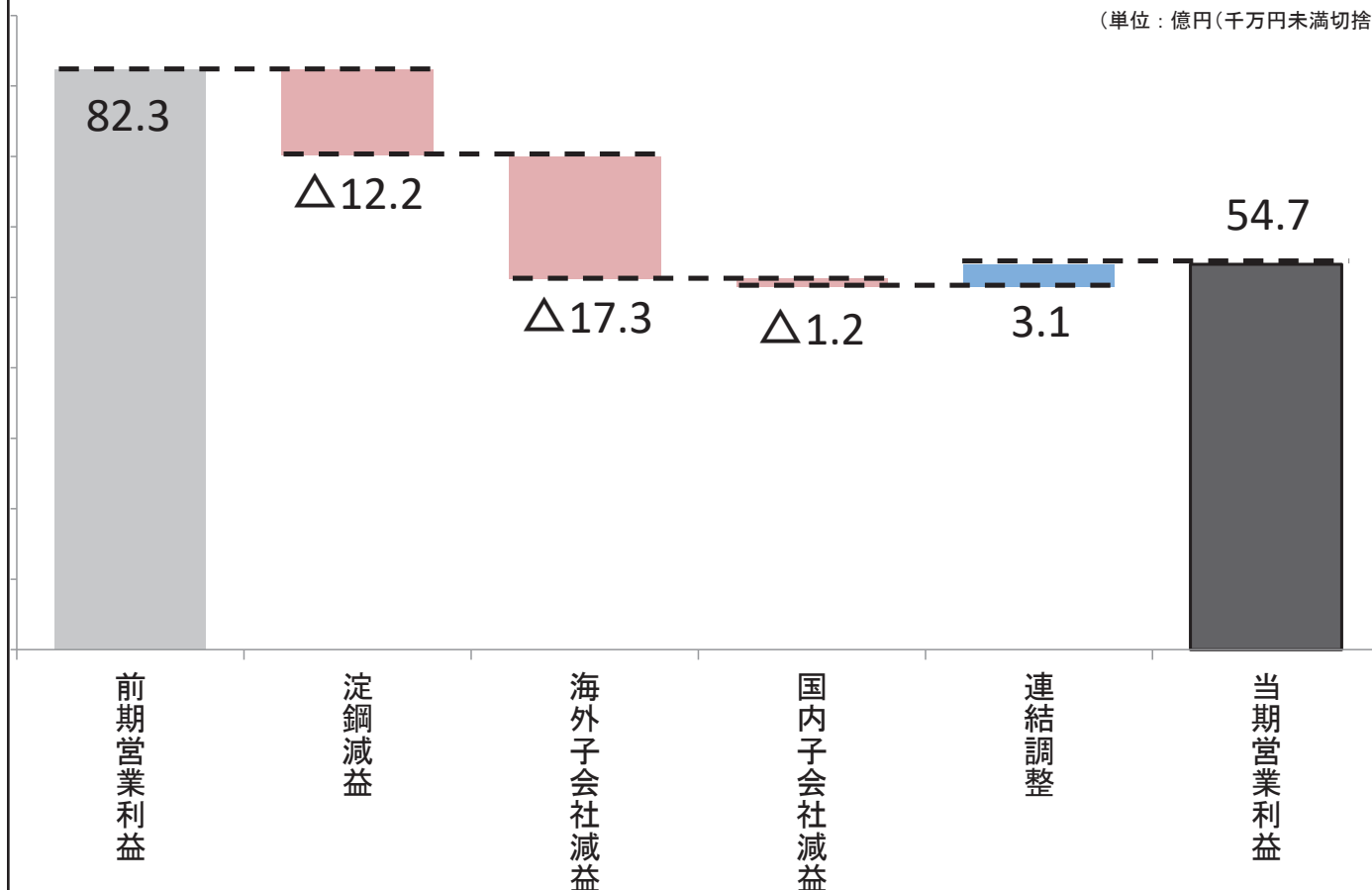


【営業利益 27億減益の主な内訳】

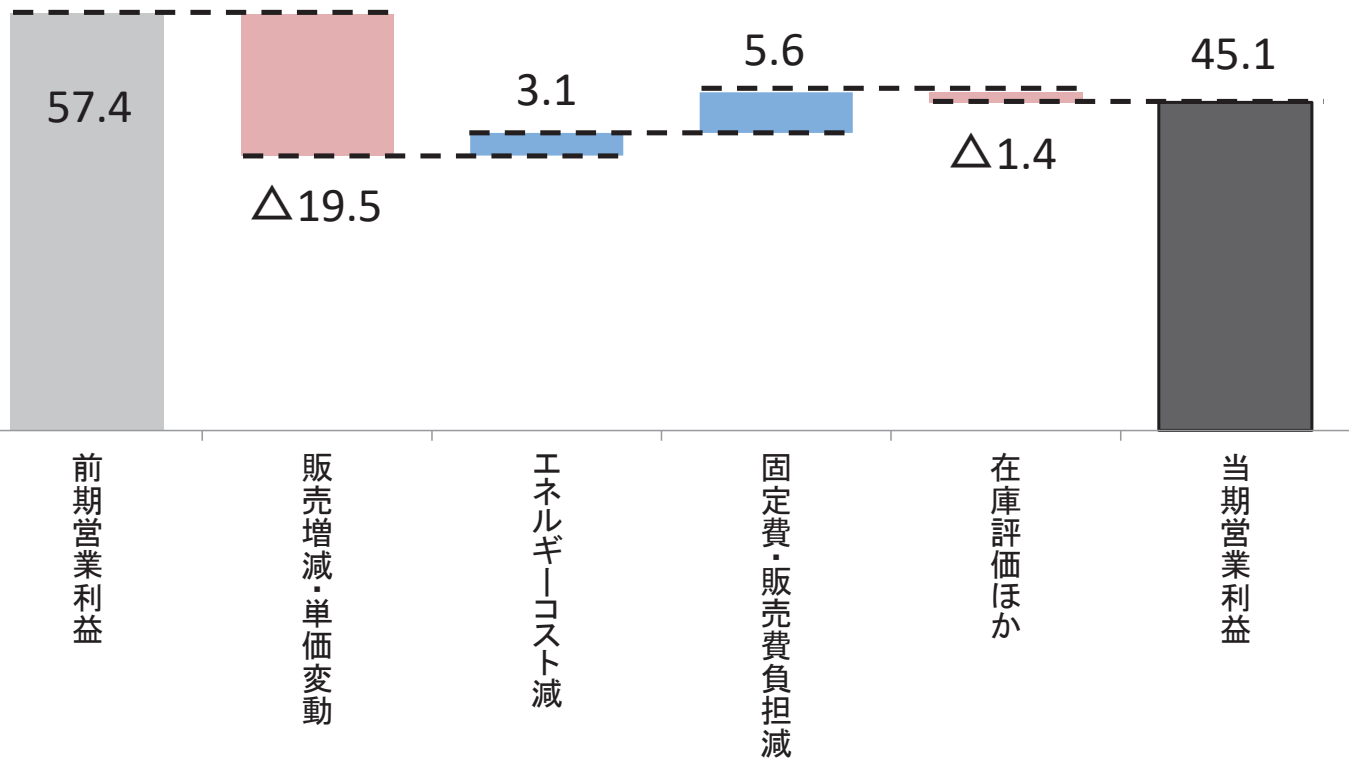
- 淀鋼 $\Delta 12$ 億 (57 \rightarrow 45)
販売価格の改善に努めるも、主に鋼板事業における販売数量の減少により減益
- SYSCO社 $\Delta 18$ 億 (29 \rightarrow 11)
需要の停滞に伴う販売数量の減少、価格競争の激化などにより減益
- YSS社 $+0.5$ 億 ($\Delta 3.8 \rightarrow \Delta 3.3$)
受注競争、価格競争の激化により利益の回復は小幅に留まる
- PPT社 $+0.7$ 億 (2.0 \rightarrow 2.7)
スプレッドの維持などに努め増益

6 損益増減要因分析 (①連結・前年同期比)

(単位：億円(千万円未満切捨))



(単位：億円(千万円未満切捨))



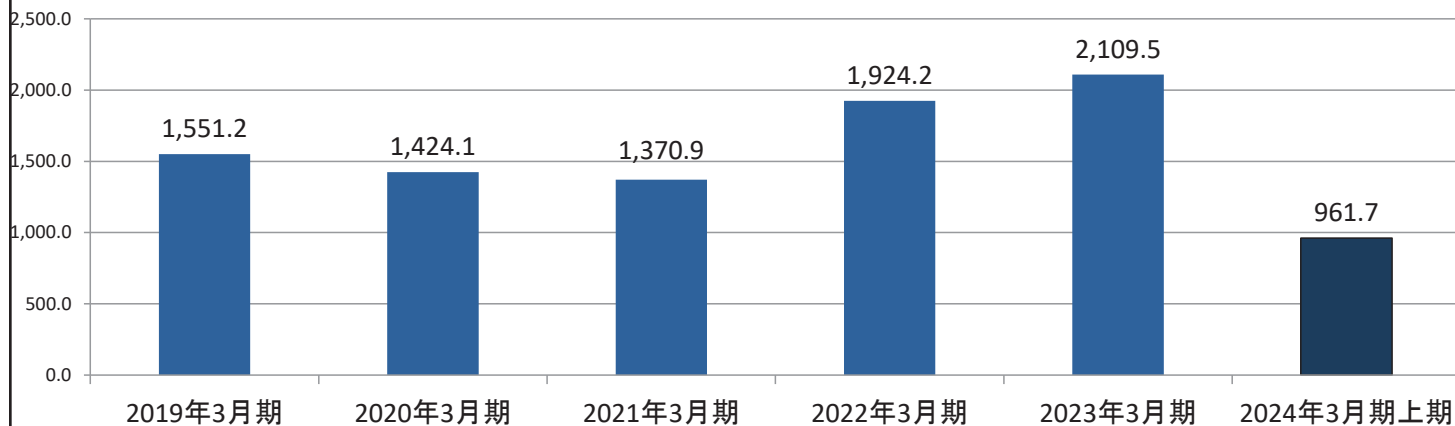
(単位：億円(千万円未満切捨))

	売上高			セグメント利益		
	当上期	前上期	増減率	当上期	前上期	増減率
鋼板関連	961.7	1,140.4	△15.7%	53.8	85.2	△36.9%
ロール	17.1	13.2	29.5%	0.7	△2.1	—
グレーチング	17.1	16.8	2.3%	0.8	0.2	228.9%
不動産	6.2	6.1	1.2%	3.9	4.0	△3.3%
報告セグメント計	1,002.3	1,176.6	△14.8%	59.4	87.4	△32.1%
その他	10.5	8.6	22.6%	1.8	1.9	△6.0%
合計	1,012.8	1,185.2	△14.5%	61.3	89.4	△31.5%
調整額				△6.5	△7.1	
PL計上額	1,012.8	1,185.2	△14.5%	54.7	82.3	△33.6%

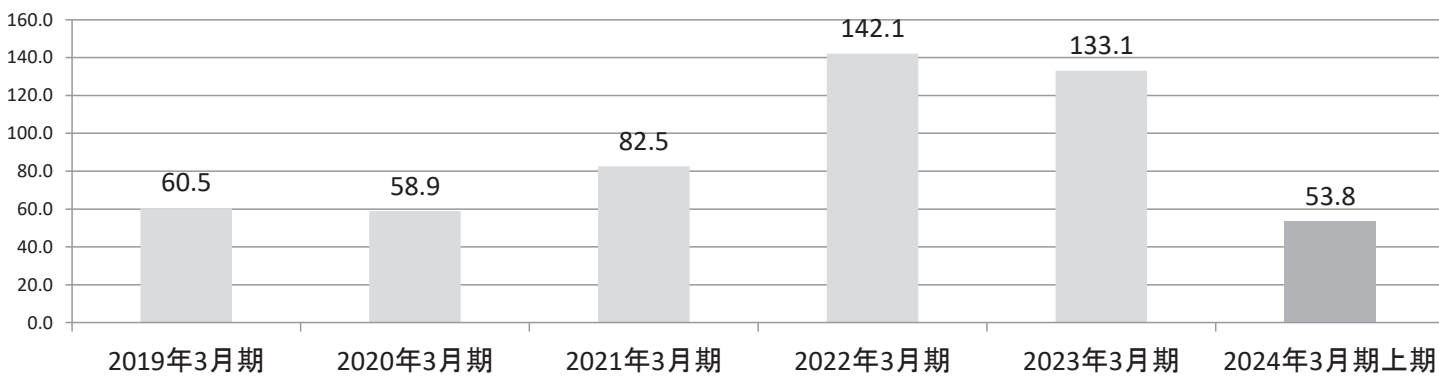
9 セグメント概況（鋼板関連事業①）

【セグメント売上高】

（単位：億円（千万円未満切捨））



【セグメント利益】



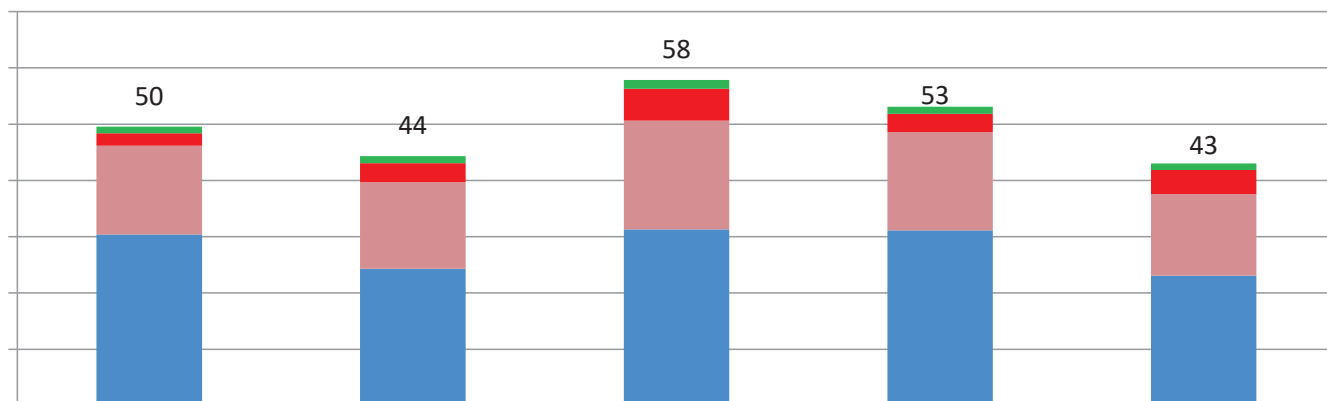
10 セグメント概況（鋼板関連事業②）

【鋼板業務】

- 日本国内（ひも付き）**
 建材向け：めっき鋼板は大型物流倉庫など一部堅調な分野もあったが、建築需要の低迷や安値の輸入材の影響を受け販売数量減少
 カラー鋼板は建築需要低調の影響を受け、販売数量減少
 電機向け：需要の先取りや増産の反動による需要家の生産・在庫調整が長引き、販売数量減少
 ひも付き全体ではシェアおよび販売価格の維持に努めたものの減収
- 日本国内（店売）**
 大型非住宅向け案件が堅調に推移するも、建築資材高騰に伴う住宅・中小非住宅の荷動き鈍化により販売数量減少
 日本国内全体では各品種で販売価格が改善するも、減収減益
- 海外**
 SYSCO社（台湾）：台湾国内は市況の下落を懸念するユーザーの当用買い徹底などにより販売数量減少
 輸出も需要の伸びが鈍化し、販売数量減少
 全体では減収減益
 Y S S 社（中国）：めっき鋼板の販売数量は減少するもカラー鋼板の販売数量は増加
 収益は小幅の改善に留まる
 P P T 社（タイ）：高付加価値商品の販売が堅調に推移し、スプレッドの維持にも努めたことから増収増益

【グループ鋼板商品の一級販売数量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)

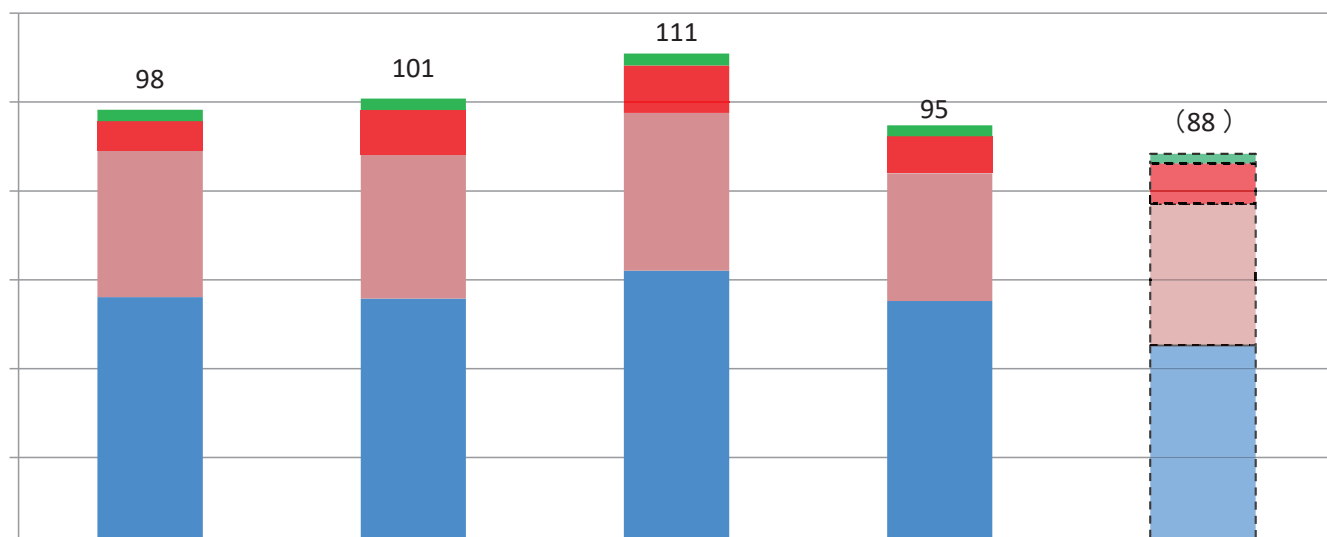


	2020年3月期 上期	2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期
■ PPT	1	1	2	1	1
■ YSS	2	3	6	3	4
■ SYSCO	16	15	19	17	14
■ YSW	30	24	31	31	23
合計	50	44	58	53	43

- YSW（淀鋼）は建築需要の停滞などから販売量減少
- SYSCO社は輸出向けが低調、YSS社は小幅の改善に留まる

【グループ鋼板商品の一級販売数量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)

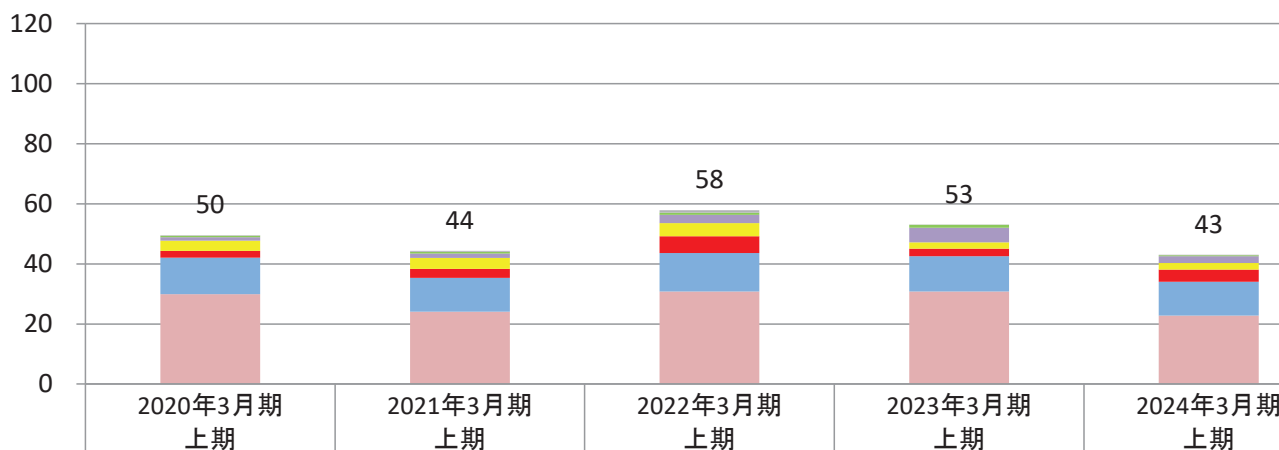


	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 通期予想
■ PPT	3	3	3	2	2
■ YSS	7	10	11	8	9
■ SYSCO	33	32	36	29	32
■ YSW	56	56	62	55	45
合計	98	101	111	95	88

13 参考資料②

【グループ鋼板商品の向先別一級販売数量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)

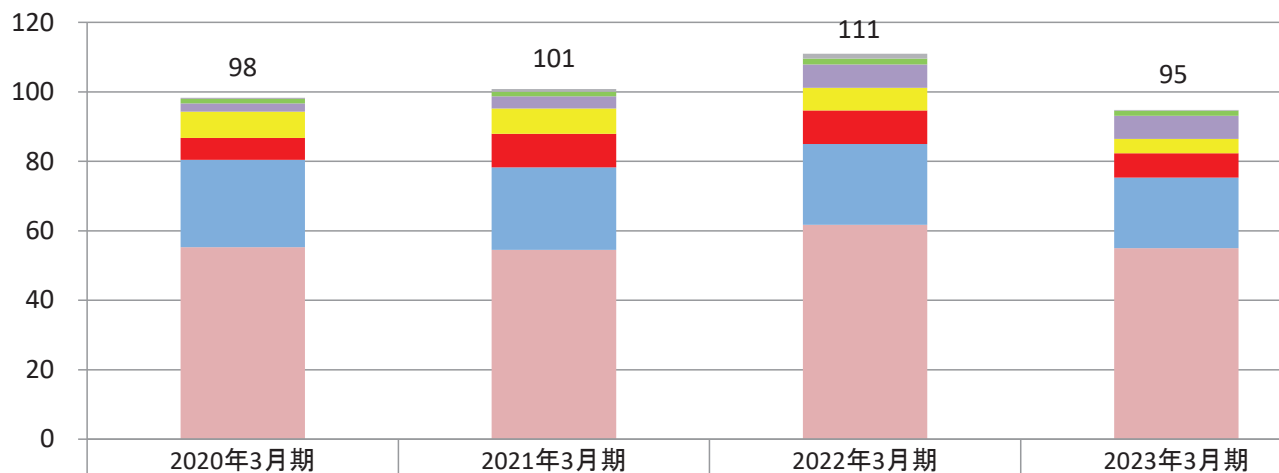


■ その他	0	0	1	0	0
■ オセアニア	0	1	1	1	0
■ 北中南米	1	1	3	5	2
■ その他アジア (中東除く)	3	4	4	2	2
■ 中国・香港	2	3	6	3	4
■ 台湾	12	11	13	12	11
■ 日本	30	24	31	31	23
合計	50	44	58	53	43

14 参考資料②

【グループ鋼板商品の向先別一級販売数量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



■ その他	0	1	1	0
■ オセアニア	1	1	2	1
■ 北中南米	2	4	7	7
■ その他アジア (中東除く)	8	7	7	4
■ 中国・香港	6	10	10	7
■ 台湾	25	24	23	20
■ 日本	55	55	62	55
合計	98	101	111	95

【建材業務（外装建材商品・工事）】

- ルーフの販売価格は改善するも、販売数量が減少し減収
- 大型物件が堅調に推移し、売上は前期並み



【ヨドルーフ施工例「天草パールガーデン」】

【建材業務（エクステリア商品）】

- ガレージ・大型倉庫は引き続き堅調に推移
- 物価上昇に伴う消費者の支出抑制の影響を受け、物置の販売数量は減少
- エクステリア商品全体では減収

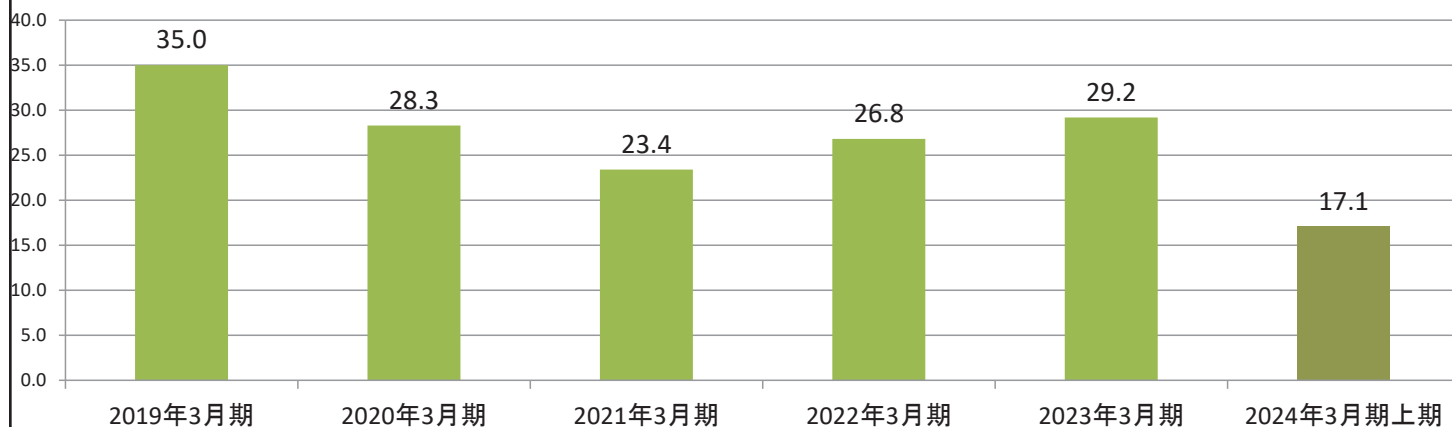


【ヨドガレージ ラヴィージュⅢ採用例】

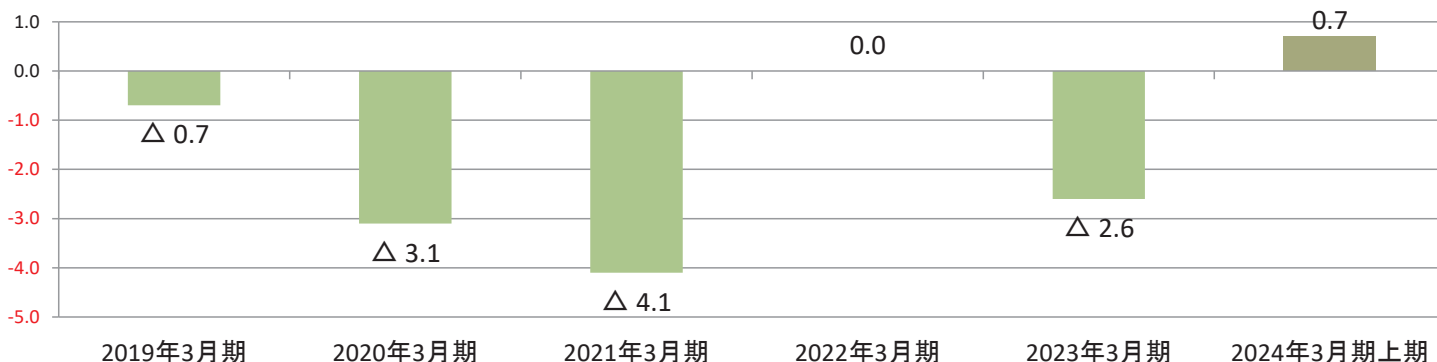
17 セグメント概況（ロール事業）

【セグメント売上高】

(単位: 億円(千万円未満切捨))



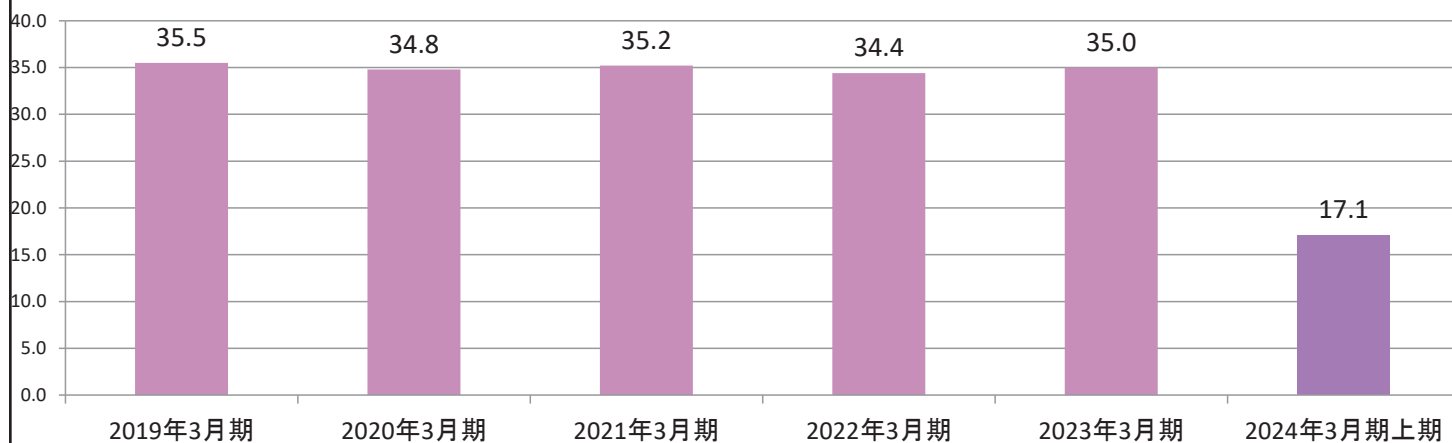
【セグメント利益】



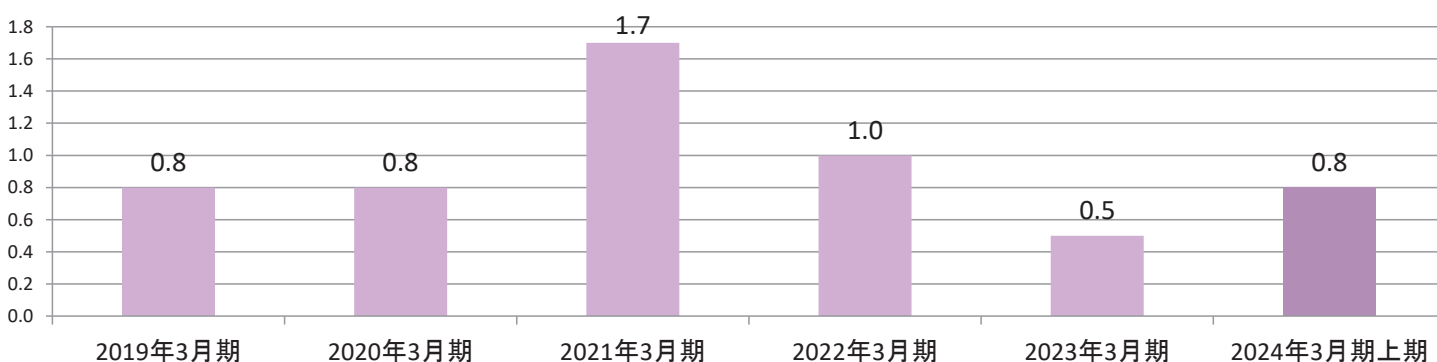
18 セグメント概況（グレーチング事業）

【セグメント売上高】

(単位: 億円(千万円未満切捨))



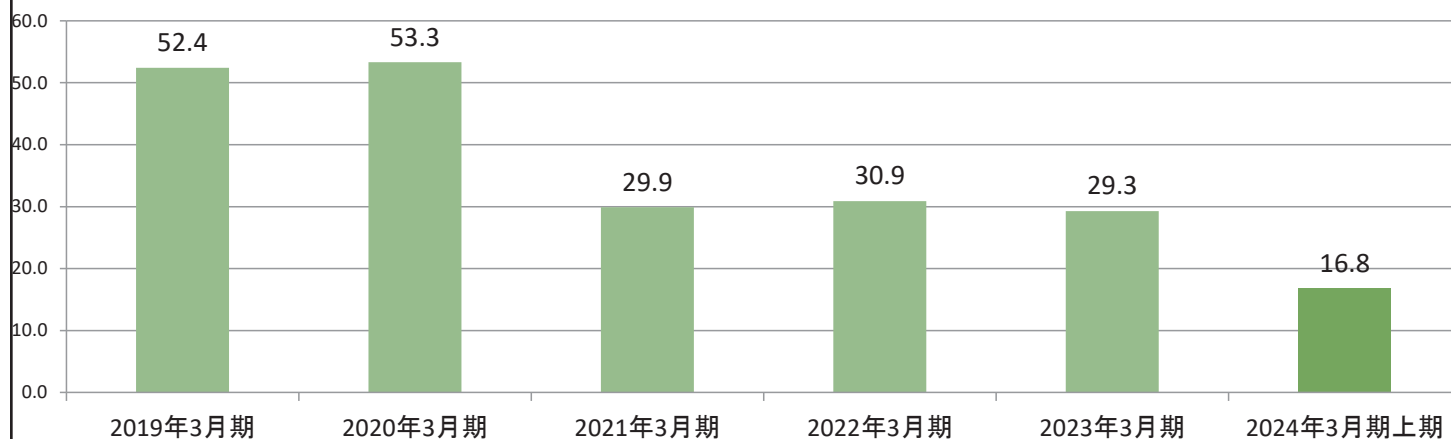
【セグメント利益】



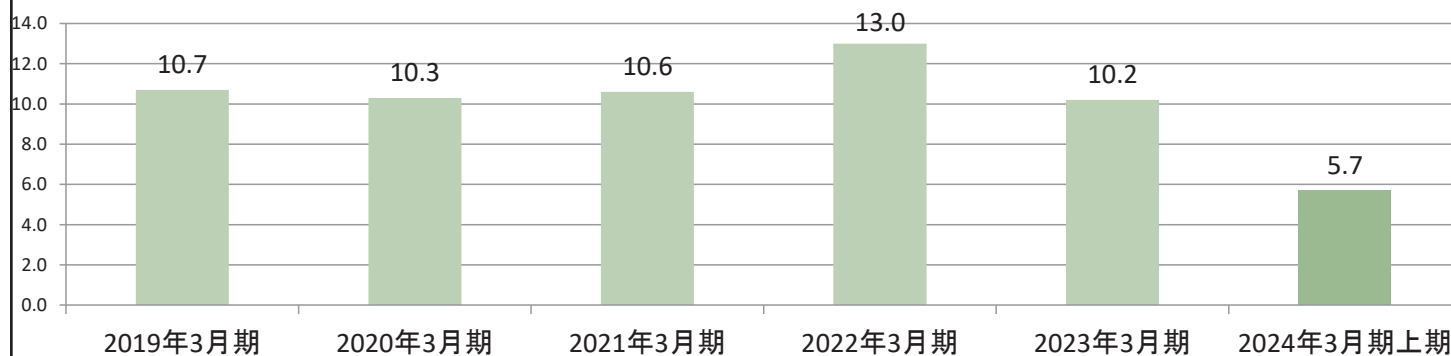
19 セグメント概況（不動産事業、その他事業）

【セグメント売上高】

（単位：億円（千万円未満切捨））



【セグメント利益】



20 セグメント概況（ロール、グレーチング、不動産ほか）

【ロール事業】

- 原材料等コスト上昇分の製品価格への転嫁に努めた結果、販売価格は改善し増収

【グレーチング事業】

- 販売数量は減少するも、販売価格改善により増収増益

【不動産事業ほか】

- 売上・損益ともにほぼ前年同期並みに推移

21 連結財政状態概要

(単位:億円(千万円未満切捨))

	当上期末	前期末	増減		特記事項
			増減	増減率	
総資産	2,596.2	2,510.5	85.6	3.4%	<資産> (流動)現金及び預金の増加 有価証券の減少など (固定)投資有価証券の増加など
(流動資産)	1,545.3	1,508.6	36.6	2.4%	
(固定資産)	1,050.8	1,001.8	48.9	4.9%	
負債	479.7	491.5	△11.7	△2.4%	<負債> (流動)支払手形、買掛金の減少など (固定)繰延税金負債の増加など
(流動負債)	326.5	350.9	△24.4	△7.0%	
(固定負債)	153.2	140.5	12.6	9.0%	
純資産	2,116.4	2,019.0	97.4	4.8%	<株主資本> 当期:親会社株主純利益51.8億、 配当△20.4億など <その他包括利益累計額> 有価証券評価差額金の増加 為替換算調整勘定の増加など
(株主資本)	1,588.6	1,556.5	32.0	2.1%	
(その他包括利益累計)	291.4	240.1	51.3	21.4%	
(非支配株主持分)	234.9	220.9	14.0	6.3%	
(BPS(円/株))	6,508.7	6,223.2	285.5		
自己資本	1,880.1	1,796.7	83.4	4.6%	
自己資本比率	72.4%	71.6%	0.8pt		

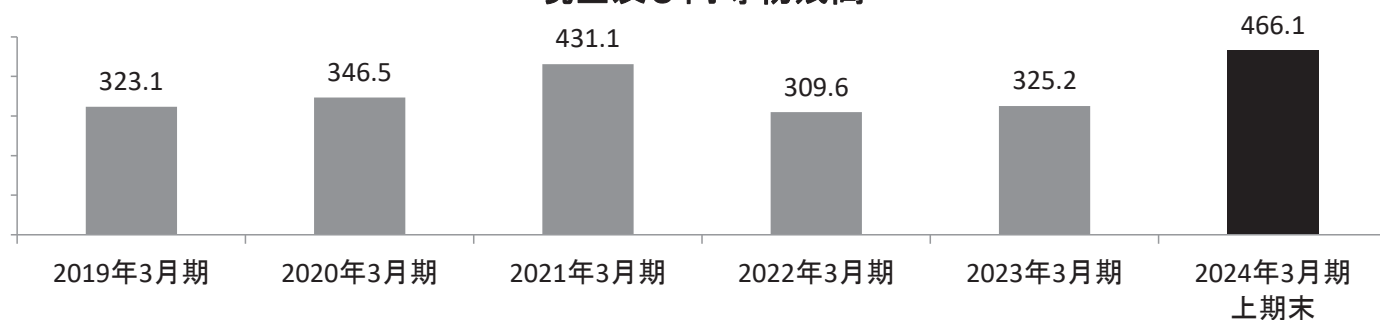
22 連結CF概要

(単位:億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
営業CF	76.4	46.8	29.6	—	棚卸資産の減少による増加
投資CF	1.0	△10.5	11.5	—	有形固定資産の売却等による収入
財務CF	△32.9	△39.4	6.4	—	当期:配当△20.7億 など
現金及び同等物	466.1	325.2	140.8	43.3%	

(単位:億円)

現金及び同等物残高

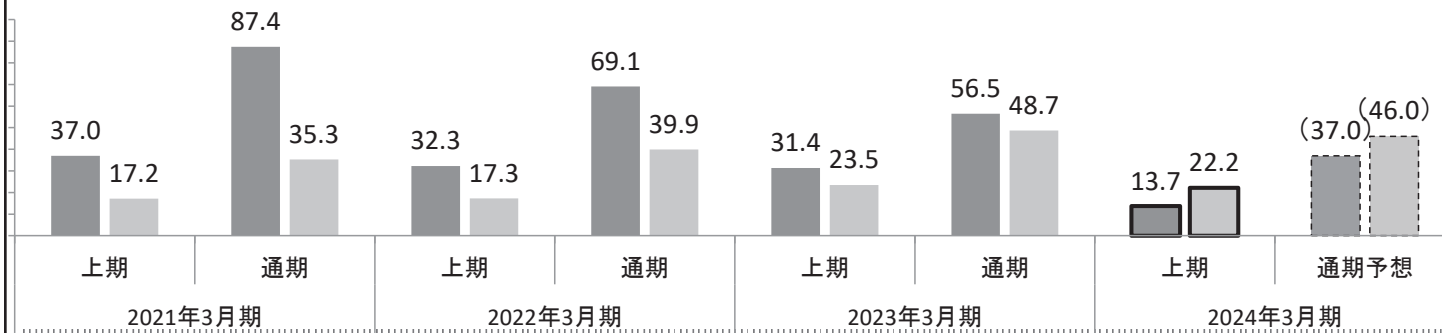


(有形固定資産のみ。建設仮勘定を含む資産計上ベース。単位:億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
設備投資(連結)	13.7	31.4	△17.6	△56.3%	大きな投資案件なし
減価償却(連結)	22.2	23.5	△1.2	△5.5%	大きな変動なし
設備投資(個別)	8.4	8.2	0.2	3.2%	大きな投資案件なし
減価償却(個別)	10.5	10.7	△0.2	△1.9%	大きな変動なし

(単位:億円)

■ 設備投資額(連結) ■ 減価償却費(連結)



(単位:億円(千万円未満切捨))

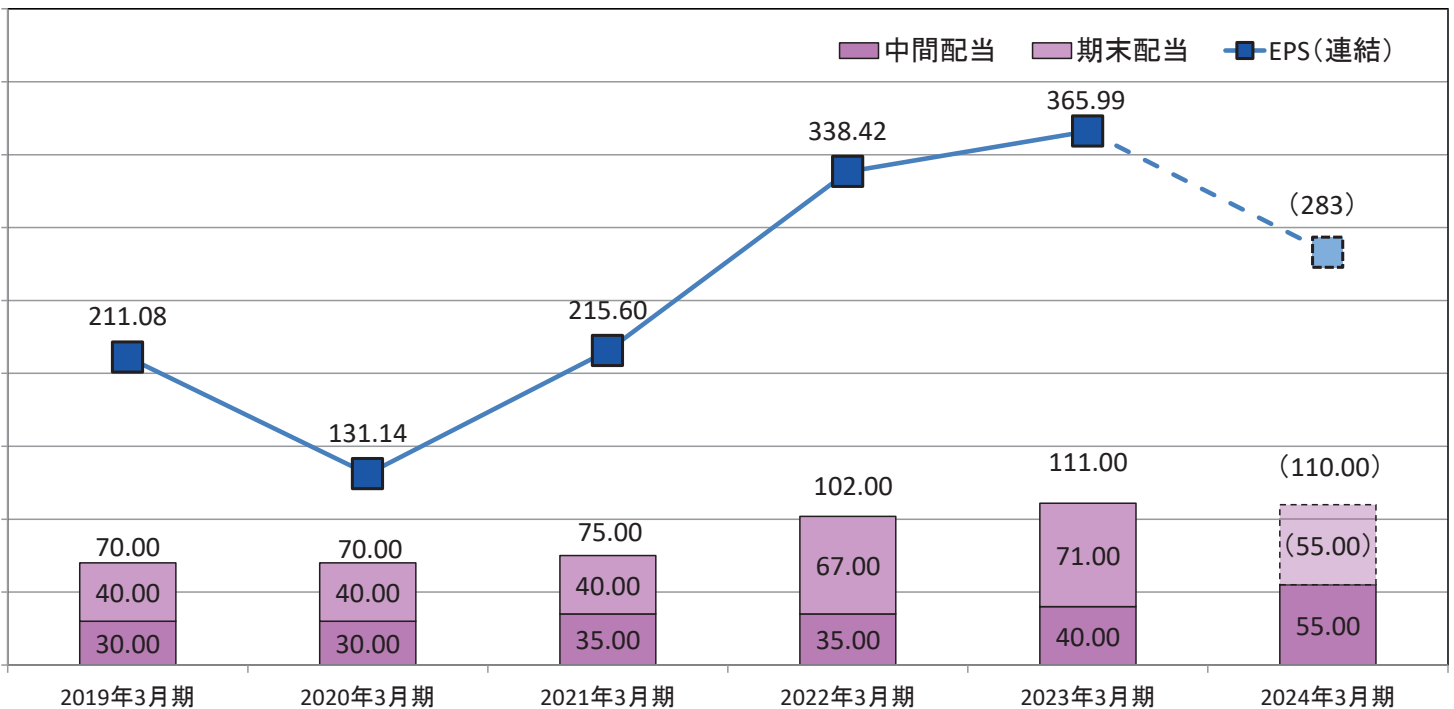
	会社	案件	完成年月 (完成予定を含む)	総投資額 (資産計上ベース)
当期実施	淀鋼	ルーフ成型機製作	2024年3月	1.6
	淀鋼	大阪工場 カラーラインインバーター更新	2023年5月	1.6
	淀鋼	市川工場 めっきライン計算機システム更新	2024年10月	1.9
今後予定	SYSCO社	2号めっきライン電機品更新	2024年7月	131.5百万NTD (約5.8)

(単位: 億円(千万円未満切捨))

2024年3月期		通期 予想	前期比 増減	上期 実績	前期比 増減	(参考) 下期予想	前期比 増減
連結	売上高	2,050.0	△7.0%	1,012.8	△14.5%	1,037.1	1.9%
	営業利益	100.0	△21.0%	54.7	△33.6%	45.2	2.2%
	経常利益	131.0	△25.9%	76.7	△30.0%	54.2	△19.3%
	親会社株主利益	82.0	△22.6%	51.8	△11.5%	30.1	△36.3%
個別	売上高	1,300.0	△10.6%	652.6	△14.7%	647.3	△6.0%
	営業利益	74.0	△32.9%	45.1	△21.3%	28.8	△45.5%
	経常利益	104.0	△38.9%	71.4	△29.5%	32.5	△52.7%
	純利益	79.0	△37.5%	55.5	△26.2%	23.4	△54.2%

- 連結は中国経済の停滞などによる鉄鋼需給ギャップの影響を受け減収減益を見込む。個別は主に建築需要の停滞などから減収減益。

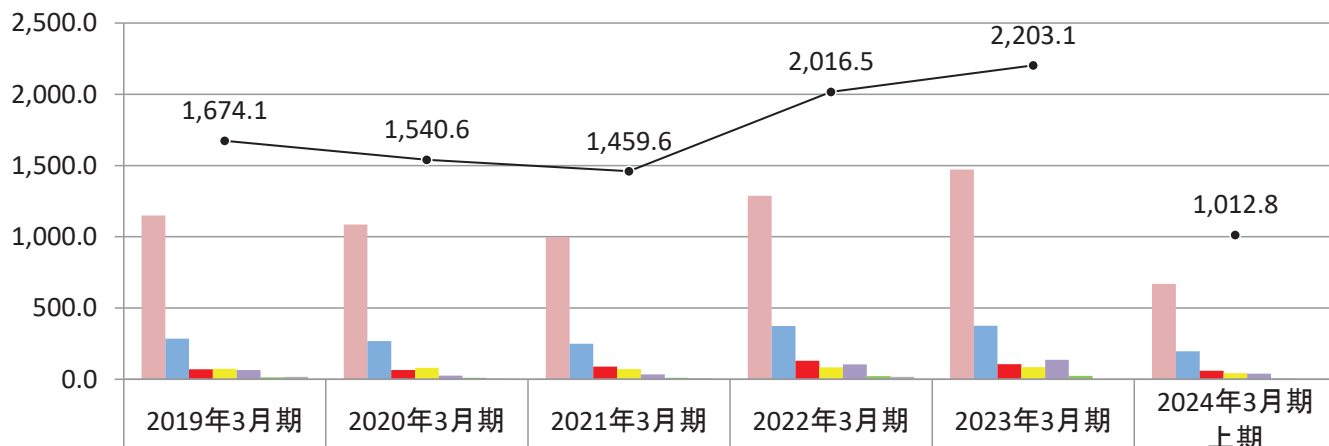
(単位: 円/株)



- 中間配当は55円といたします。
- 期末配当予想を55円、年間配当予想を110円といたします。

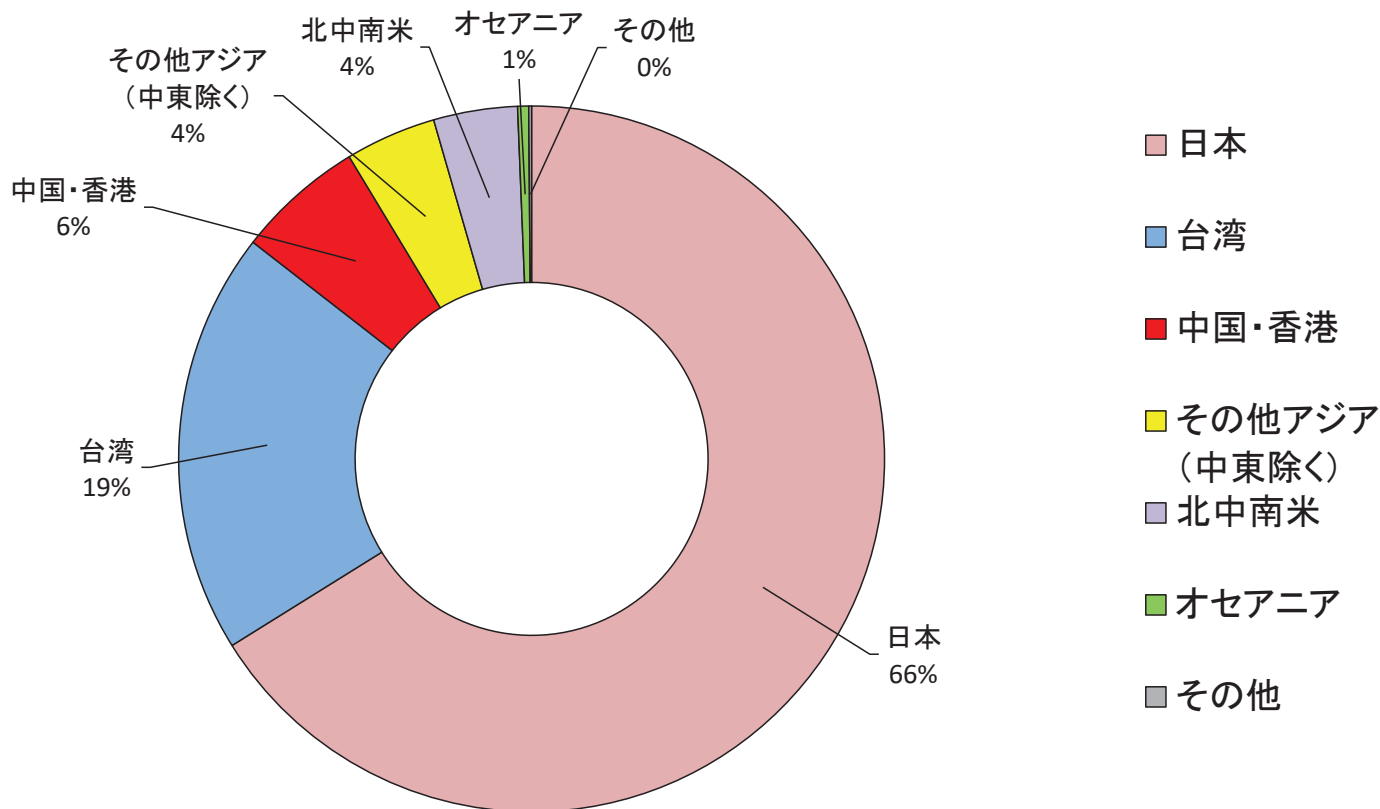
【仕向地別売上高推移】

(単位:億円(千万円未満切捨))



【仕向地別売上高比率(2024年3月期第2四半期)】

(単位:億円(千万円未満切捨))



【従業員数・人件費】

(単位:人, 億円(千万円未満切捨))

